

「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」

答申説明会 意見・アンケート結果（日高会場）

- 開催日 2021 年 7 月 2 日（金）19:00～20:45
- 会 場 日高地区コミュニティセンター多目的ホール
- 出席者 参加者 56 名
教育委員会事務局 9 名

■ 質疑・意見交換（要旨）

意見・質問	回 答
説明の中で小小連携とあったが、小小連携ではなく統合を考えているのか。 静修小学校区では、小学校の人数が減っていくなかで、統合の話は 30～40 年前からあった。これまで住宅誘致や道路の歩道などの要望をしてきた。広範囲な地域づくりを考えた。そのような発想があるが、聞いてもらえないなかで今日を迎えるのは非常に残念という感覚を持っている。 先ほど学校同士の連携ではなく統合かとお尋ねしたが、八代小と日高小と静修小が統合して、安心して子どもを育てる地域として、親も子も育っていくことがあってもよいと思う。 ただし、20 年、30 年後には、学校の耐用年数の問題が出てくると思う。日高小学校の鉄筋校舎の耐用年数も時期がきているのではないか。そのことを頭に置きながら、この統合問題をする必要があるのではないかと考える。 今回の統合案は、反対ではない。特に子を持つ親の気持ちになってみたら、早く何とかしてくれという気持ちも分かる。しかし、地域があって子も育つ、親も育つということを忘れて統合したのでは、いずれ失敗を招くと思うので、長期的な視野も含めて、この統合を進めていただければと思う。	（ご意見としてうかがいました）
説明の中で、小規模特認校をしているところは、（校区外から来ているのは）1 人か 2 人ということだったが、知る限りでは、神戸市の六甲山小学校は、児童	小規模特認校制度の要望は、認識している。現時点の状況は、審議会から答申を受け、本日はその答申の説明となる。審議会では課題が大きいので、小規模特

数が一時期 20 人くらいが、今では 70 人を超えて複式学級は解消されている。それから養父市の建屋小学校では、今年度は（校区外から）14 人きていて、40 数名の児童数で複式学級がないということだった。現地を訪れて確認した。 小規模特認校制度は、効果が一時的である、小規模校同士の児童の取り合いになる、などの理由で導入しないという答申だが、いろいろ調べると六甲山小学校のように複式学級が解消されているところもある。 であるならば、それをやることが、少人数学級のマイナス要素が解消でき、そして地域コミュニティも消滅を回避できる、両立できる唯一の方法だと思う。 先日、市長との要望の場があり、八代地区の区長会長より市長に小規模特認校制度について要望したいが、話し合いの場は設けてもらえるかと要望を出した。市長からは、話し合いを十分にやって進めるようになっているという返答があったと聞いている。今、八代小学校区の中では、地域も P T A も含めていろいろと検討しており、基本的には小規模特認校の導入を要望しようと思っている。市長が言うように話し合いの場を持ってもらえると思ってよいか。	認校は導入しない方が良いという答申をいただいた。まだ、答申段階であるので、地域から小規模特認校制度を設けてほしいという意見があったことはしっかりと受け止めて、今後、検討はさせていただきたいと思う。 また、それが地域の声であり、保護者も同じということであれば、その方々の意見も聞きたいと思っており、いろいろな意見を聞きながら、計画案を策定する際に、検討したいと考えている。
そもそも論であるが、答申の考え方からはじまって、統合に向けてということが今日の説明であるが、どこからこれがでてきているのか。審議会と言われたが、議会の方で統廃合ということが上がって、それを受けての教育委員会の方針となっているのか。それとも、教育委員会だけで国の学習指導要領、市の教育プラン、そういう部分で統廃合が上がってきたのか。まず原因というものを聞きたい。	2019 年の教育懇談会で保護者の方を中心に小規模校への不安がたくさんある、また、市の主導で学校統合を進めてほしいという意見があった。これを受け、第 3 者からなる審議会を立ち上げ、検討したところであって、あくまで今回の答申は、審議会の委員で検討した結果になる。 審議会では、市のおかれている状況や、国の教育の内容、市の教育の目指す内容について説明し、また、保護者向け、地域向けの意見交換会の意見についてもすべてお伝えをし、委員から意見を求めたもので、初めから統廃合に向けての協議をお願いしたものではない。今後も人数が少なくなり、子どもたちの学習環

	境、多様な学びをするためには、ある程度の人数が必要であるという考えのもと、いろいろな方法を考えた結果の答申となっている。
市の予算が厳しいから将来的に統廃合をすると考えていると聞いた。それが含まれているのであれば、無駄なところはたくさんあるので、それを提案しようと思った。今日はすべての方が教育委員会なので、尋ねてみた。 きれいにまとめてあるが、説明も誘導的な内容が多い。例えば、子どもが少ないので大人数のところや、社会に出たら不安とあるが、そんなことはない。小学校の次は中学校で増え、中学校の次は高校、次には大学、だんだん慣れていく。市の教育プランにコミュニケーション能力とあるが、これについては、教育ではなくてスマホの影響が大きい。今日学校を休む、会社を休む、をスマホするため、電話もとれないというようになっている。 また、通学区域の見直しでコミュニティの分断につながるとあるが、逆に統廃合したらコミュニティがなくなるのではないか。地域のコミュニティが、消滅するということになる。生涯学習は小学校、中学校だけではないので、そこも考えて、皆さんの意見に耳を傾けてほしい。	(ご意見としてうかがいました)
該当する小学校の保護者のアンケート、あるいは、子どもたちのアンケートなど、そのような数字はないのか。地域住民のアンケートなどの数字はないのか。	アンケートはとっていないが、これまで行った意見交換会などで、保護者の方、地域の方の意見を聞いている。 また、学校区で独自にアンケートをとられたところもあるので、そのようなものも参考にしながら、今後どのように対応していくか検討したい。
八代小と府中小の統合は、答申では審議されなかったのか。	去年の地域別意見交換会では、府中小と八代小の再編という案も示した。その上で、審議会の委員からも、保護者からも、八代小と静修小と日高小という枠組みが良いという意見があった。また、八代小と静修小は既に小小連携を行っているため、顔なじみでの統合の方が安心

	ではないかという意見もあった。したがって、審議会の意見も保護者の意見も加味し、今回の枠組み案となっている。
通学時間は、概ね1時間以内とするがあるが、交通機関を使うしかないと思う。そのあたりの具体的なことは、審議会では検討されていないのか。 豊岡市内で一部、全但バスを利用している子どもがいるが、ここ（日高）では全但バスを使うことは難しいと思うが、交通手段のことをしっかりと考えているのか。	通学の方法は、最終的には統合準備委員会の中で、その地域の公共交通機関や、道路の安全性などの状況を判断しながら検討する。公共交通機関がなければ単独のスクールバスも含めて検討するが、地域の交通を守るという観点で基本的には路線バスを使った通学を検討する。
市の教育プランに非認知能力とあるが、保護者の関心は、どちらかというと、その逆の認知能力の方に関心が高いのではないと思う。答申にはないが、学力についてどう考えているのか。	学力については、認知能力であり、知識や技能といった部分になる。これからは、それをどう使っていくのかも必要になってくる。今求められているのが、最後までやり抜く力や、自分の感情をコントロールしていく力といった非認知能力であって、それを身に付けていくことが、学力の向上につながるという認識のもと、取り組んでいる。
地域コミュニティについては、ずいぶん気になるので、しっかりと市も考えていただきたい。	地域コミュニティについては、仮に学校がなくなったコミュニティについてはどうなるのかを、継続的に行事等ができるような工夫も含めてセットで考えていきたい。皆さんの意見も聞きながら進めていきたい。
子育て世代からの意見として、資料の中で学校統合を望む意見が多くあげられたとか、具体の数字が少ないところが気になる。資料全体的にもう少し具体的な数字を示していただきたい。 私は地元に戻ってきたが、当然、自分の子は八代小学校に行くものだと思っていた。今までコミュニティに参加していないこともあり、突然の発表で驚いていて、自分の意見をもつというか、悩んでいるところです。 説明の中にある「主体的な学び」や「コミュニケーション能力」についても、関連性が薄いのではないと思う。 小規模校の良さと課題に不等号を付けているが、一般的な意見であって、それが合う子もいれば、逆になる場合の子	具体的な数値はないのは、アンケートについては、統合に賛成か、反対を聞いたものではなく、自由記載の中で「統合してほしい」や、「反対である」という意見を取りまとめて判断して示しているためです。そのような意見をたくさんいただいているとご理解いただきたい。 今後、進めていくなかでは、地域の方、あるいは保護者の方と話し合いをしながら決めていく必要がある。単にアンケートになってしまうと保護者の方、地域の方で意見が分かれた場合に、人数は保護者の方が少ないので、多数決だけで決められるものではないと認識している。 また、小規模校の課題の件では、小規模校でもいろいろと種類がある。50人を下回るような複式学級が生じる程度で

もいると思う。小規模校の良さが何個あげられるか、課題が何個あげられるか、もし箇条書きにできるのであれば、具体的にこの資料の中でまとめて、課題の方が大きいと示された方がよいのではないかと思う。	内訳をみると、各クラス内で2～3人となり、そうなると、やはり課題が大きくなるのではないかと考えている。学年同士の競争力であるとか、教え合うというようなチームワークでの行事がなかなか難しいこともある。そのような中で、先生方がいろいろな努力、工夫をされて課題解消には努めているが、やはり人数が少なくなるほど、課題が顕著になる。小規模校の方が良いことも当然あるが、人数が少なすぎると課題が大きくなる。
メリット、メリットと言っているが、統合するデメリットがひとつもない。大体同じような人数が統合された港西小と港東小の子どもたちの意見は出ているが、五荘小の800人くらいの規模に奈佐小が統合された。その意見は一切出していない。そういうことも載せていないので、なにか誘導するような、ものすごく違和感がある。 奈佐小の子どもたちの意見はないのか。	五荘小については、具体的な記述式のアンケートをとっていないので、今後、お願いしている。なお、先生からは、子どもたちは楽しく通っており、五荘小の子どもたちにうまく溶け込んでいると聞いている。今のところ不登校になった子どもはいない、また、子どもたちも五荘とか奈佐とか関係なく一緒になって混ざり合って遊んでいる、と先生方も特に大きな課題として見ていないと聞いている。
あらためて聞くが、豊岡市はどのようにふるさと教育について考えているのか。	統合すると新たなふるさと教育を考えなければならないので、その際に、それぞれの学校でやってきたものを活かしていくことも必要になってくる。学校ですべてやるのが難しくなれば、それぞれの地域の中で、コミュニティの中でやっていただくこともでてこようかと思う。その時には、地域の方々の力添えをもらいながら、ふるさと教育の推進を図っていきたいと考えている。
基本的なふるさと教育について教えてください。	地域を大切に思って、地域の良さを自分の言葉で語ることができる、そのような子どもたちを育てることだと考えている。
豊岡市のふるさと教育の説明には、地域の文化・伝統を守るといふものがある。今回の答申は、すべて小規模校を統合していく一辺倒な施策です。例えば、この前、議会だよりに出ていたが、奈佐節はどうなるのか。そういう古き良きものが消えていく。県下最大の面積のある豊岡市は、いろいろな地域性がある。すべて	地域の皆さんが、学校のことをとても大切に思われていることが伝わる。 まず、予算であるが、この統廃合を検討するにあたり、他の公共施設マネジメント等、予算や施設の削減をメインで考えたものではない。子どもたちの教育環境をどうするのが一番良いかということで検討を始めている。

小規模校を一刀両断のもとに切り捨てようとしているようにしか見えない。 八代の場合は、3 世代ふれあい夏祭りが 30 年前からある。但馬でも唯一地元で花火を上げて、保育園から小学生と地元の人との交流が続いている。地域の皆さんが子ども教室で低学年の子どもたちを学校前のコミュニティでみて、お兄ちゃんやお姉ちゃんが帰ってくるまで待って一緒に下校するなど、そういった地域性がある。八代太鼓は、それぞれの地域の音頭を小学校で全部伝承している。一生懸命になって学校を残そうとしている地域があるので、残してくれてもいいのではないかな。 児童の取り合いになると言われたが、豊岡市のマンモス校の五荘小は、バイパスができたので 15 分、20 分で来られる。日高小の 500 人弱の小学校からでも来られる。言いたいのは、教育の二極化の問題、そのような問題はデメリットがないのか。ここに아가っていないが、ひとつもそのための受け皿が用意されていない。 小規模特認校という事例について、建屋小学校に行って、実際に聞いて、これであれば、八代の特性として非常に継続したものもあるし、なおかつ、八代保育園は、地元の園児は 10 数人で、校区外から 40 人から 50 人が毎日来ている。ぜひ残していきたい。 話を元に戻すが、ふるさと教育というならば、統合が答えになっていないと思う。それに対してどう考えているのか。今回の答申が、豊岡市のふるさと教育に沿ってなされているのか。経費削減でやろうとしているのではないかという思いもあるが、子どもを大事にしなかったら、市は生き残れない。そこは本当に考えているのか。	ふるさと教育についても、地域の伝統・文化、それらを子どもたちに知ってもらい、地域を大切に思っ、地域に誇りをもって、例えば、高校を卒業して地域から出て行っても、また地域に帰ってきたいと思えるような、そのような子どもたちを育てる、それを目標としている。これは、統廃合とは別の問題であり、統廃合が進んだからといって、ふるさと教育や地域を全く顧みないのではなく、やはり、地域のこともしっかり子どもたちに伝えていき、統合しても自分たちの生まれ育った地域を大事にするような子どもたちを育てたいと考えている。ただ、学校だけでは難しいと考えているので、地域での子どもたちの育ちを大切に考えていただいている方々に協力いただき、統合と地域を大切にすることも、あわせて行っていきたいと考えている。
静修校区では、当時の町に要望し、子育て世代用の静修住宅ができて、今の人数できている。その後も地域として子どもが少なくなる問題に対して、何かする	市の人口減少対策については、今から 6 年前の地方創生総合戦略で、例えば、観光や産業や教育など、縦割りではなくていろいろな横の分野で、若い世代に帰

ことはないかと取り組んでいる。ただ、この20年、30年、これといった対策を町なり、市がしたということがほとんど見えてこない。今回、子どもが少なくなったから廃校にするだけではなく、今の計画でいくと10年、15年後には、日高町の中に小学校が3つ、中学校が1つ、もっと先に行けば、ただ少なくなっていくだけとなる。日高町には、学校はいらないとなりかねない。まずは、少子化対策をしっかりと示しながら、その意見も欲しいと思う。 確かに、1学年に1人とか2人とか、男女比が悪いとなってくると問題があることは分かるが、その問題に対応しつつ、なんとか地域を守っていく取り組みがないかと思う。 今回は教育委員会からの話だが、市がどう考えているのかをきちんと説明してもらえないかと思う。	ってきてもらえるような情報発信や景気対策を事細かく対応している。 最近では、コロナ禍も加わって、田舎に注目が集まり、昨年度では、移住の相談が例年の倍になって、実際に日高を含めて定住されたという方も聞いている。そのような実績が少しずつ表れているところがあるが、依然、人口減少がさらに進んでいるという状況である。
私は、統廃合は慎重で、どちらかと言えば反対の立場です。これからどんどん人口は減っていく。今は、10年、20年先のことですが、50年、100年先のことはなかなか難しいが、やはり、ある程度そこも見ておかないと結局、統廃合を無限に続けることになる。豊岡市で学校はひとつだけ、もっとその先には、豊岡では学校がなくなり、但馬でひとつだけという状況になりかねない。だから、発想を変えて、ある程度少ない学校でもなんとか存続させる方法を考えていく時期にそろそろきているのではないか。 複式学級はデメリットがあるとのことだが、そうであれば市独自で複式学級にしないような加配をすることや、できることはあると思う。そうしないと、学校がないところに人は来ない。移住者が少し増えたという話だが、小学校、中学校が近くにあるから、移住してこられる、だけれどもそれがなくなったら、Uターンする人も移住者もほとんどいないとも当然考えられるので、発想の転換	(ご意見としてうかがいました)

をする時期に来ているのではないかと思う。 学校は、生徒だけ、保護者だけのものではない。もちろん、生徒、保護者が一番だと思うが、やはり学校が地域をつくる、地域が学校をつくる、学校と地域が一体という観点がもう少しあってもいいのではないか。	
西気小と清滝小の統合を経験した。地域として十分に検討した結果、やはり子どもたちのことを考えて統合しようという結論にいたった。しかしながら、地域コミュニティということを考えると、合併すると子どもは一緒になるが、それぞれには地域性というものはまだまだ残っていていろいろな活動の問題になる。保護者の意見、地域の人意見、高齢者の意見、若い人意見、本当に十分に聞いて、統合に向けた話し合いをしていただきたいと要望する。とにかく、人口減少、少子化、これをどう解決していくのかということだが、学校があつた方が地域は頑張れる。なかったら、やはり人が寄ってこないのではないか。学校がある地域には、それなりの人が寄ってくる。いろいろと地域性があるが、それは一つの地域の誇りであるので、市も地域の皆さんの声を十分に聞いて、検討したり、判断したりすることを願う。	繰り返しになるが、無理やり進めることはないので、地域の皆さんと一緒に考えていきたい。

■アンケートでの意見（要約）

- 合併によりその地区から学校がなくなるのは寂しいが、子どもの教育を考えるとある程度の人数は必要と考える。
- 学校統廃合についての一番の主役は子どもたちである。また、子どもの保護者であると考え。子どもたちの学びや活動に制限があることは問題であることから早期に解消が求められる。
- やはり極小規模校では十分な教育効果は得られないと考える。20名程度の児童数は必要ではないか。
- 市の学校再編案には概ね賛成です。子どもたちのために様々な教育効果を期待した統合案だと思いますので、子どもたちが安全に登校できるように検討願う。
- 納得とスピードの両立が求められる。答申で提示された形で適切であると感じている。
- 適正規模の考え方、良いと思います。適正配置については、概ね良いと思いますが、通学時間はバス等を使って30分以内が良いと思う（徒歩、自転車で1時間は負担が大きすぎる）。
- 時代の流れだから統合はしかたない。子どものことを考えて統合はすべき。年配の意見は聞かなくていい。八代小は特によい特性を持つ学校ですが、5～6年後に生徒数10人になってしまう。これでは、良い教育はできないと思うし、子ども中心に先のことを考えれば、統合はやむをえないと思う。
- 東中、西中の統合は早く考えていただきたい。
- 子どもの減少に加えて清滝地区の人口も1,541人、10年後300人、20年後500人減少する（968人）？統合と地域コミュニティのあり方も検討すること。清滝小、西中学校の統合は平行して考えていく必要があるのではないかな。
- 将来的には小中一貫義務教育学校がのぞましいのではないかな。地域の小学校は利用施設として残し、サテライト校として活用。
- まずは、子どもたちの教育はどうかで第一で、コミュニティについてはその次かと思う。
- 地域に学校がなくなると地域コミュニティが衰退するという意見があるが、地域に子どもがいらないというわけではない。地域にいる子どもたちをまきこんで、いかに地域コミュニティを活性化させるのかが問われるところである。
- 小中学校の問題については保護者の意見を優先すべきではないか。
- 答申についてはある程度理解できた。統合、閉校については、もっと意見交換すべきであると考え（地域・PTAとの関係において）。
- 統合もやむなしとは思いますが、もし地域で統合しないと結論付けた場合は、その答え（存続）を尊重してもらえるのか。意見を言っても無駄だと思っている人も相当いると思う。統合しないという判断もある（認める）と公言してほしい。それによって、より中身のある話し合いができると思う。
- 地域住民や保護者等の声に耳を傾けて、方向性を出して頂きたい。ただ、統廃合を進めるだけではうまくいかない。子どもたちの未来を考えて頂きたい。
- 統合ありきの説明になっている。地域の意見を充分聞いて進めてほしい。
- 統合ありきの答申である。地域住民の意見を十分生かしてほしい。
- 地域と共にしっかりと考えていただきたい。
- もっと意見交換会の場をもっていただきたい。

- 統廃合についての発表を聞いた段階だと思うので、しっかり考えて意見を交わす機会があればよいと思う。
- 案は案として、地域や保護者の思いや考えを大切にしていきたい。市として少子化への施策をもっとしっかり打ち出すべき。
- 統合しない場合の少子化問題での対応についても相談に乗ってほしい。
- 統合の話は出る日が来るとは思うが、それ以前に八代地区に住宅等(法の整備)を考えていただきたかった。
- 前回と内容にあまり変化がなかった。出席者を増やし、この問題を地域にもっと啓発していく必要がある。そして、小学校保護者世代、保育園世代の出席者を増やしていく必要がある。せめて、その世代の意見を幅広く聞く方法を考えていく必要がある。
- 世代別の熱量の差はかなりあるので、世代別の納得できる説明をお願いしたい。
- 小規模のメリットをこれまでの全国の事例をふまえて見せることが統合案をすすめるという前に必要かと感じた。
- 少子化によって財源が減ってくるので、お金の問題についても出した方がよいのではないかな。
- 答申が統合ありきで作成されているように感じ取れる。
- 「結果ありき」その実現に向けて都合のよいデータの収集、データの結果（統廃合）に適合するような読み取りが大前提としてあると思う。説明の内容もデータも前回とあまり代わり映えがしない。つまり結果ありきということではないか。「答申」を重視するのが、市・市教委の方針だと思うが、その「答申」を出したメンバーが果たして、ニュートラルなのか、信頼できるのか疑問である。
- 統合ありきの説明で客観性が疑わしい（統合のメリットを強調しすぎ、本当にデメリットはないのか？ここまで偏っていると説明側（教育委員会）の意図的なものを感じる）。五荘と奈佐の統合の回答でも同じ。ここまでメリットばかり言って、さらにメリットを言われても、それを簡単に信じることができない。このままでいくと市の意見が通ってしまうか、市と地域の方の意見が平行線のままである。こんな時、市そして学校はどうするのか？
- メリットとデメリットをきちんと提示してほしい。
- 希望的観測で発言しないでほしい。
- 何を言っても統合の方向で進められるのだと感じる。責任者を明確にして失敗したとき責任をとってもらえるようお願いする。
- 答申＝計画ではない。豊岡市は小規模校のメリットを進める施策が見えない。
- 豊岡市は小規模校のデメリットを強く協調しすぎている。豊岡市は少子化対策を進めていない（人口減は仕方がない、地域の崩壊を見ているだけだ）
- 小学校は地域コミュニティの基盤となっている。小学校の機能は、子どもの教育が第一義ではあるが、同時に校区は地域づくり、地域活性化に取り組むエリアとして重要な施設である。小規模校の児童数を増やす努力に取り組み、地域の学校を残すことが必要と考える。
- 小学校があつてこそその地域と考えると統廃合だけが方法ではないように思った。慎重な検討をしてほしい。

- 適正とは何か、日高町、豊岡市、但馬は、人口等において適正なのか、でなければ廃止するのか。小学校の統廃合は、地区にとっても重要な問題で子どもたちの問題、対応は十分に検討し、合意が必要。
- 八代小学校の小規模特認校の認定を希望する。
- 大きな小学校へ1～2人の子どもが入るのは保護者の方には不安があると思う。八代保育園の良い例があるので小規模特認校を要望する。
- 八代地区としては特認校を望む。特認校を目指して一丸となっている。前向きに検討してほしい。
- 小規模特認校も検討内容に加えてほしい。
- 保護者会が NO と言えば統合はされないのか。小規模特認校を行ったあとに仮に失敗しても統合は出来るのか。子どもは同級生の友だちがほしいと言っている。
- これから子どもが小学校に行くようになる若い夫婦が、どこに住むか（アパートなり、新居なり）を考えるのに小規模校校区を嫌がる傾向があると聞いたことがある。それがどの程度の傾向なのか知りたい。
- 現在は居住地で校区が決まってしまうが、行きたい学校に行けるようにしたら特徴ある学校には児童生徒が集まってくる。
- 誰のために学校の統合を進めるのか、子どものためでは？子どもが減ることは今後も続く問題。統合をしても将来同じことが繰り返されるのは見えている。そんな条件の中でも子どもたちを育てる、教育する方法を考えるべきでは？友だちが少ない中でも互いに支え合い、学び、成長する工夫を子どもたちにも考えさせては？それこそがコミュニケーション能力や非認知能力を育む最高の学びの場ではないか。そういう教育を選ぶことも「小さな世界都市」を目指す豊岡らしさになるのでは？
- 児童の人数ばかりが問題とされているが、市の教育レベルを上げるべき。そのためには教師の質をあげる努力を何より優先すべきと考える。
- 子どもの通学路の念入りな点検をお願いします。千葉県の方では胸の痛む事故が起きている。
- 統合の場合、校名、校歌、校章を見直し、統合される側が気持ちが小さくならないようにしていただきたい。